

児童・生徒の学力の向上を目指して

平成26年度に実施した全国学力・学習状況調査の結果の概要と学力の向上に向けた具体的な取組みについてお知らせします。

問合せ 学校教育課 ☎(43) 1111 内線632

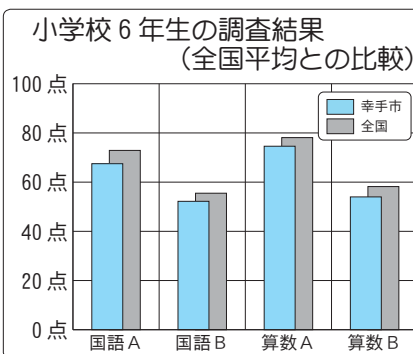
FAX(43) 3188

調査結果の概要

【教科に関する調査結果】

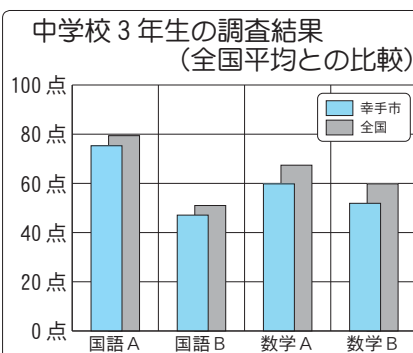
▼小学生の結果

小学校6年生は、国語A・B、算数A・Bにおいて、全国や県の平均正答率と比較して、355ポイント程度下回る結果でした。特に、国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」が、全国および県の平均正答率を下回っています。国語Bについては、「話すこと・書くこと」「読むこと」は3ポイント程度平均を下回る結果でした。



▼中学生の結果

中学校3年生は、国語A・Bにおいて、全国や県の平均正答率と比較して、457ポイント程度下回る結果でしたが、国語Bの「読むこと」では、全国平均を上回りました。しかし、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」においては、大きく平均を下回る結果でした。数学A・Bについては、7ポイント以上平均値を下回る結果でした。特に数学Bの「数と式」は10ポイント近く平均値を下回っています。

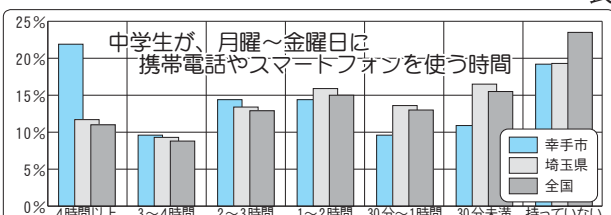


【学習意識・生活に関する調査結果】

小学校6年生では「家で計画的に勉強している」と回答した割合が全国や県の平均値を上回るなど、各校の家庭学習の成果が出ています。また、小学校6年生では「国語の勉強が好きだ」、中学校3年生では「数学の勉強が好きだ」と回答した割合が県や全国の平均値を上回っています。

「毎日朝食を食べている」と回答した割合が小・中学生ともに全国平均値を上回っており、これまで推進してきた「早寝・早起き・朝ごはん運動」をはじめ、学校と家庭がしっかりと連携して取り組んでいる成果が表れています。

しかし、中学3年生では「テレビやゲーム」「携帯電話やスマートフォン」の利用時間が県や全国平均と比較してかなり長いと結果も出ています。



学力向上に向けた具体的な取組み

【各学校の取組み】

「読む・書く」「計算する」力を伸ばすため、朝の活動時間など、日課表の工夫や授業時間の始め・終わりの時間を使った漢字や計算、英単語などの繰返し学習、確認テストを実施するなど、基礎・基本の土台となる力を育てています。

また、授業では、少人数指導やチーム・ティーチングによる個に応じた指導を展開するなど、きめ細かな指導の充実を図る取組みを進めています。

今後は、基礎・基本の確実な習得のために繰り返し指導を行い、習得した知識や技能を活用して問題を解決する「思考力・判断力・表現力」をはぐくむための交流や話し合い活動を行うなど、日々、指導方法の工夫改善に努めていきます。

また、毎日の宿題で日記や計算、読書などの基礎的な学習や点検カードなどを活用した学習習慣や生活習慣の確立、長期休業日における「サマースクール」など、児童・生徒の補充学習をする取組みも推進していきます。

【教育委員会の取組み】

県教育委員会から「地域に応じた学力向上推進事業」の委嘱を受け、学力向上推進協議会を設置し、市全体で学力向上の取組みを進めています。また、「幸手・桜の学びセミナー」の開催のほか、計画的に学校訪問や研修会の開催など、教員の指導力向上のための支援をしています。

さらに、年8回(半日単位)以上の土曜授業による授業時数確保のほか、一人ひとりの児童・生徒に、きめ細かな指導を行うために、国や県の制度を活用し教員数の増員を図るとともに、市独自の教育支援員を配置し、個に応じた指導の充実を図っています。また、中学生の国語・数学の基礎・基本の確実な定着のため、学習サポーターを配置し、個別指導による学習支援も行っています。

3学期制の導入

平成27年4月からは3学期制を導入し、基礎的な知識や技能の確実な習得と、それらを活用して問題を解決する「思考力・判断力・表現力」の育成、学習意欲の向上など、課題克服のための各学校の取組みを一層充実させるための支援を進めていきます。

成人健康教育事業のご案内

血管いきいき！高血圧予防教室

高血圧の状態が続くと、脳卒中や心臓病にかかりやすいことが分かっています。血圧を下げるための日常生活のポイントを学んでみませんか？

- と き ① 2月20日(金)午後1時30分～3時30分
② 3月5日(木)午前9時30分～午後0時30分
③ 3月12日(木)午前9時30分～11時30分

ところ ウェルス幸手第1会議室・調理実習室

- 内 容 ①医師による病態の話、個別相談(希望者のみ)
②栄養講話、調理実習
③まとめ

対 象 市内在住の20歳以上の人
(原則3日とも参加できる人)

定 員 20人(申込み順)

持ち物 筆記用具、2日目はエプロン、三角きん、ふきん3枚、米0.5合

弁当箱ダイエット教室

弁当箱を活用し、「なにをどのくらい食べれば良いか？」バランスや適量について、食生活の基礎を学んでみませんか？

と き 2月5日(木)、19日(木)

ところ ウェルス幸手調理実習室

内 容 栄養講話、調理実習

対 象 市内在住の20歳以上の人

定 員 20人(申込み順)

持ち物 筆記用具、エプロン、三角きん、ふきん3枚、米0.5合

申込み・問合せ

健康増進課

☎(42) 8421・FAX(42) 2130



幸手市環境基本計画の取組状況

「幸手市環境基本計画」では、50年後を目安とした幸手の望ましい姿を「幸手の環境像」として掲げています。その目標に向けた「協働の取組指標」について、平成25年度末時点における取組状況の一部をお知らせします。

■ 環境基本計画に掲げる「協働の取組指標」(全85項目のうち一部抜粋)

協働の取組指標	担当課	達成度	取組状況
燃やせるごみの中の生ごみを減らします	環 境 課	○	生ごみ処理容器など(コンポストや電動式)補助制度の再開に向けて、準備が完了した。
公共工事における再生資材利用を拡充します	都市計画課	○	園路舗装や路盤材に再生資材を使用している。
全ての学校・保育所で、地元で作る安全な農作物が食べられるようにします	子育て支援課	○	安心安全な地元産野菜の調達に向け、地産地消研究会に依頼し、幸手産の野菜を調達することとしている。
「地球配慮の推進に関する方針」「幸手市行政改革大綱」を活用して、行政の業務における環境配慮の率先行動を充実させます	環 境 課	○	「第2次幸手市地球温暖化対策実行計画【事務事業編】」を策定した。

※達成度 ○…実施している、改善しているなど(49項目) △…検討中など(16項目) ×…実施していないなど(20項目)

公共施設などの温室効果ガス排出量

「幸手市地球温暖化対策実行計画」では、市の公共施設などから排出される温室効果ガスの排出量の削減目標を掲げて、その目標達成に向けて取り組んでいます。

市で策定した「第2次幸手市地球温暖化対策実行計画【事務事業編】」において、市の公共施設などから排出される温室効果ガスの排出量を、平成22年度を基準として6%削減することを目指しています。平成25年度の時点で、目標を大きく超える削減がされていますが、東日本大震災と原子力発電所の事故による節電効果が大きく影響していると考えられます。

事務事業への影響や、職員への負担をできるだけ抑えながら、引き続き温室効果ガスの排出量の削減に努めていきます。

